



2022 年度

アカコッコ保護事業報告書

伊豆諸島とトカラ列島のみには生息する日本固有種で環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠB 類に選定されているアカコッコの個体数の増加を目的に、日本野鳥の会はアカコッコ保護事業として、2012年から重要な繁殖地である東京都三宅島を中心に調査や環境整備、普及教育活動などを行なっています。



トピックス

◆ 個体が入れ替わった？

2017 年から三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館周辺で行なっているジオロケータやGPSロガーを用いたアカコッコの行動圏調査ですが、2022 年は例年と状況が変わっていました。調査期間中は、例年 7 月の調査では、15 ~ 40 羽程度のアカコッコが捕獲されるのですが、今回はたった 4 羽と非常に数が少なく、また、再捕獲個体は 1 羽もいませんでした。アカコッコは、繁殖期に比較的同じなわばりに戻ってくる傾向があるようで、特に成鳥オスの再捕獲率は高かったのですが、今回捕獲された 4 羽のうち 3 羽は生後 1 ~ 2 年の若い個体でした。周辺環境は大きく変わった様子はなく、理由は分かりませんが、個体の入れ替わりがあったのかもしれない。

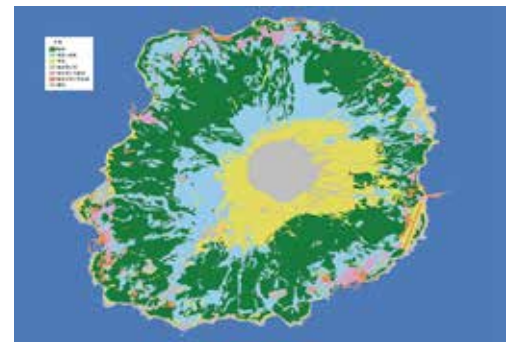


調査の合間に周辺のアカコッコの出現状況を確認

◆ 三宅島のアカコッコの個体数調査

三宅島では、島民の方と一緒に繁殖期である 5 月に全島で個体数調査を行なっています。今回はコース数を 19 コースに減らした縮小版で実施し、推定個体数は約 10,500 羽となりました。昨年度が約 12,200 羽とこれまでの最多であり、今年はやや少ない値になりました。

個体数を推定するために使用している植生図の情報更新が課題となっていました。昭和会館様からの助成金を活用し、新しい環境区分図を作成してもらいました。今後は新しいデータを基に個体数推定を行なっていく予定です。



情報更新された環境区分図

◆ アカコッコの森づくりを開催

3月 25 日、アカコッコが住みやすい環境を維持するためにアカコッコ館周辺の林内の環境管理作業を行ないました。数年ぶりに島外の方にご参加いただいたの開催でしたが、あいにくの雨天予報のため参加者が半分に減った開催となりました。雨の合間を見て下草刈りを行った他、室内でアカコッコのための水場を板と防水シートを使って作り、森の中に設置しました。

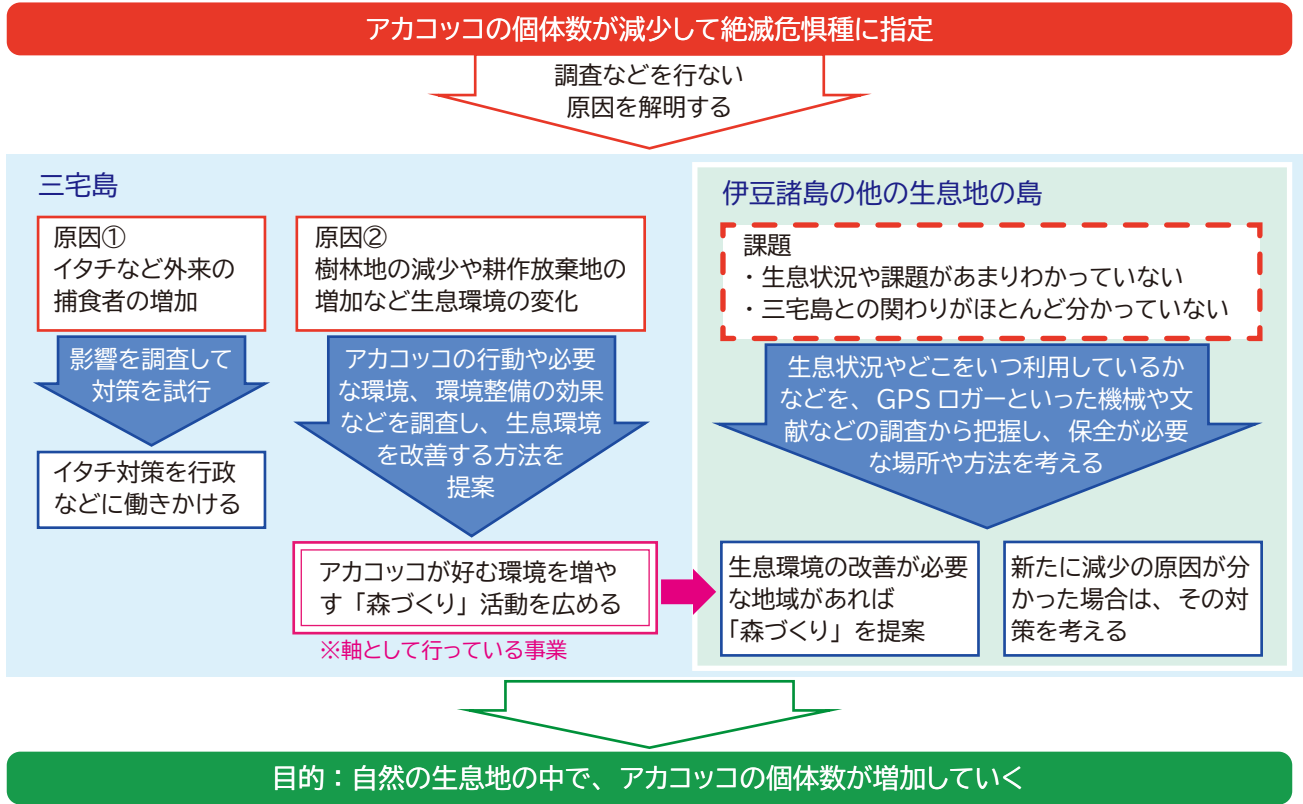


水場づくりの様子

本事業は、手島基金及び一般社団法人昭和会館からの助成金を基に実施しました

目標

- ・アカコッコの生息地を増やすための森づくりモデルの確立と普及
- ・三宅島における森づくり作業の実施
- ・外来捕食者（イタチ等）への対策



主な活動

2012 年度

保全計画の作成、次年度以降の調査計画等準備

2013 年度～ 2021年度

カラーリングを用いた繁殖期の行動圏面積の推定

森林内の下草管理区域のアカコッコによる利用状況の調査

三宅島でアカコッコ総個体数調査を実施

アカコッコの森復活大作戦のリーフレットの配布とイベントの開催

アカコッコの利用地域の解明に向け、GPS ロガーを回収、新たに装着

環境省により国内希少野生動植物種に指定（調査結果などを基に当会が要望）

2022年度

5月11, 12日 三宅島のアカコッコの個体数推定のための調査の実施
(アカコッコ館職員と島民で実施)

7月12～15日 アカコッコの利用地域の解明に向け GPS ロガーを回収

3月25日 アカコッコの森づくり開催

・三宅島の植生を基にした環境区分図の作製

